

目標達成計画

作成日: 平成 28年 2月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	馴染みの関係を越え、慣れの関係になっている場面が見られる。特に言葉による行動抑制が、気付かずに行われている為、改善する必要がある。	一人ひとりの尊厳を大切にし、私達職員が話す言葉がそのまま、入居者様の環境の一部として生活が成り立っている事を理解する。	東西に接遇委員をおき、気になる言葉使い、不快に感じる言葉を書き出し、言葉の言い換えを行う。気が付いた職員は、優しい言葉で注意する。もっとも出やすい、「ちょっと待って」はあえて言い換えの項目にはあげないが、その言葉を発した時は謝罪し、待つ理由、時間を端的に伝える。第三者が耳にしても心地よい言葉に代えていく。	12ヶ月
2	2	限られた人のみとの関係性が築けているが、地域全体に必要な存在にはなれていない為、地域住民が訪問したくなる場所にしていく必要がある。	近所の人達が気楽に、お茶を飲みにきたり、話しにきたりできる雰囲気づくりや行事を行っていく。	少なくなってきた、祝日に国旗の掲揚、こどもの日にこいのぼりを外に飾ったり、畑づくりと良心市の設置、隣の老人ホームとの共催による、百歳体操や夏祭り等の開催等入居者様以外の人達にむけた活動を行っていく。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。